



## 定住住宅取得補助金交付式 活力あるまちづくりを目指して！

4月20日（金）、定住住宅取得補助事業の補助金交付式が役場において行われました。

本町では、人口増加と定住化により、活力あるまちづくりの推進を図るため、町内に住宅を新築または購入した場合、経費の一部を補助する事業を昨年から実施しています。

交付式では、補助対象者を代表して垂水市から転入してきた森永真次さんに補助金が交付されました。

定住住宅取得補助金は、事業開始から15世帯（平成23年度9件、平成24年6件：平成24.5.1現在）へ交付されています。



▲副町長から補助金を受け取る森永さん



## 薩摩義士の偉業を知って！ 紙芝居上映 平田鞞久さん

5月1日（火）、野方小学校と大崎小学校において岐阜県の本曾三川分流工事（宝暦治水事件）で難工事を成し遂げた薩摩義士の偉業を描いた紙芝居の上映会が行われました。

紙芝居を行った平田鞞久さんは、江戸時代の薩摩藩家老で、分流工事の責任者だった平田鞞負の9代目の子孫にあたるそうで、薩摩義士の偉業を広く伝える活動を行っています。

平田さんは、児童らに「薩摩藩は、多くの犠牲者を出しながら、決死の覚悟で工事をやり遂げ災害に困り果てていた人を救った。みなさんもあきらめないこと。やり遂げること。感謝することを忘れないで」訴えました。



## ひまわりを育てて 人権を考えよう！

4月23日（月）、中沖小学校において『人権の花運動』の開校式が行われました。

『人権の花』運動は、児童が花を育てることを通して、命の大切さや思いやりの心を育むことを目的に実施されます。

開校式では、人権イメージキャラクターの『人KENまもる君とあゆみちゃん』が登場し、児童らと交流しました。その後、人権のイメージの花である『ひまわり』の種が配布されました。

最後に、人権擁護委員の稲葉正和さんが「みんなで協力しながら花を育ててください。」と挨拶しました。



▲野方小学校で紙芝居を上映する平田鞞久さん



▲開校式で挨拶する人権擁護委員の稲葉正和さん